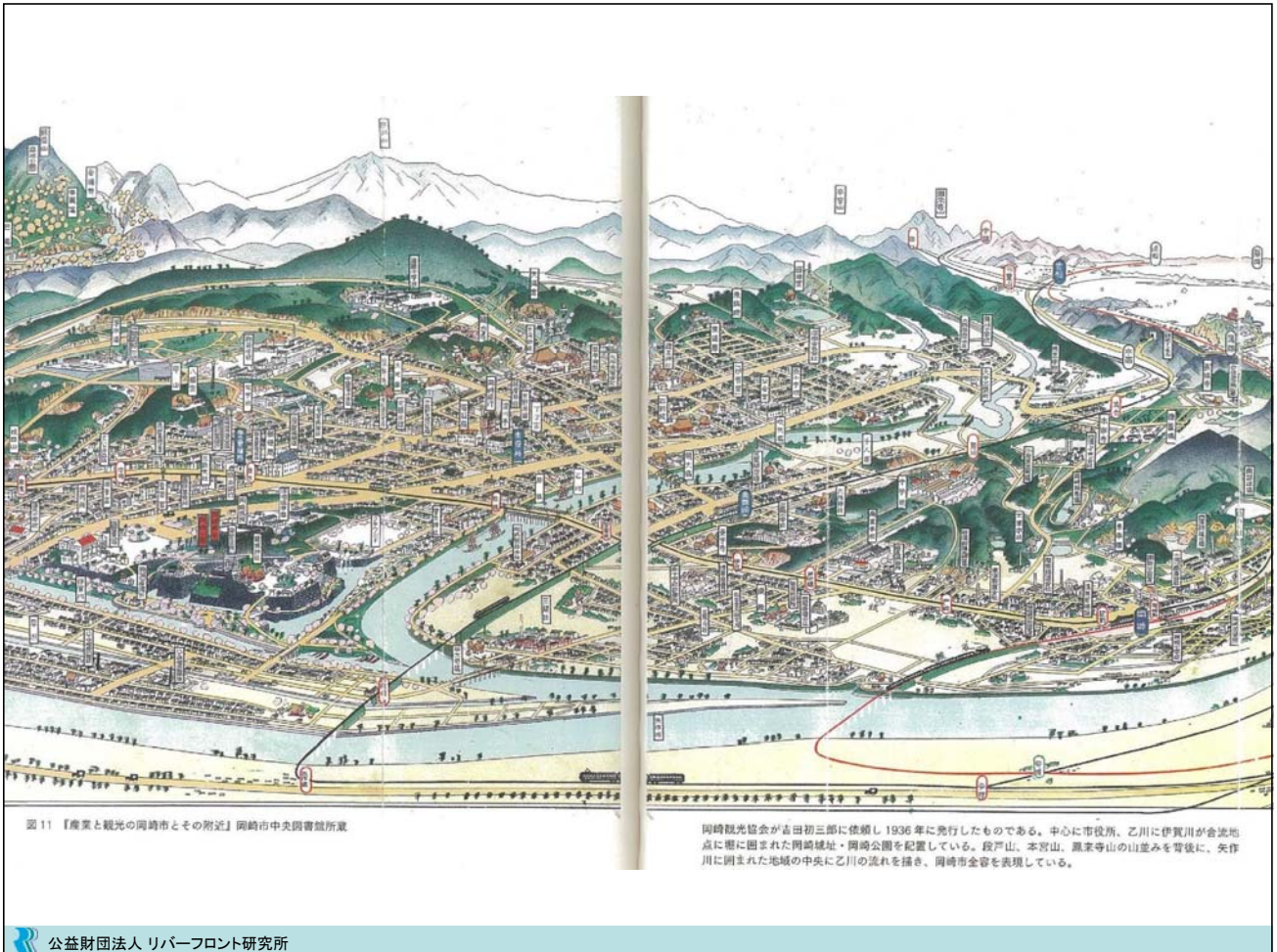
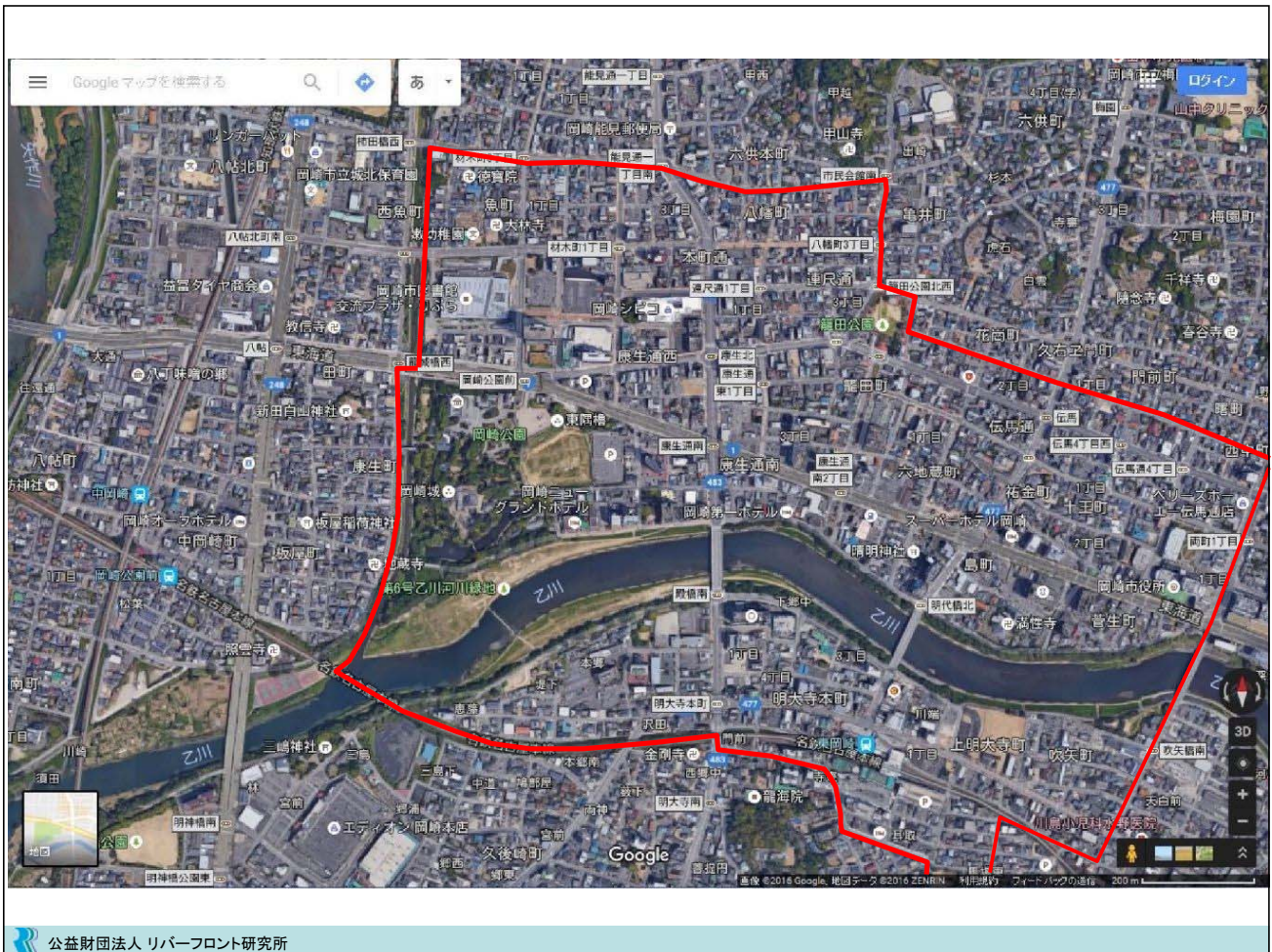


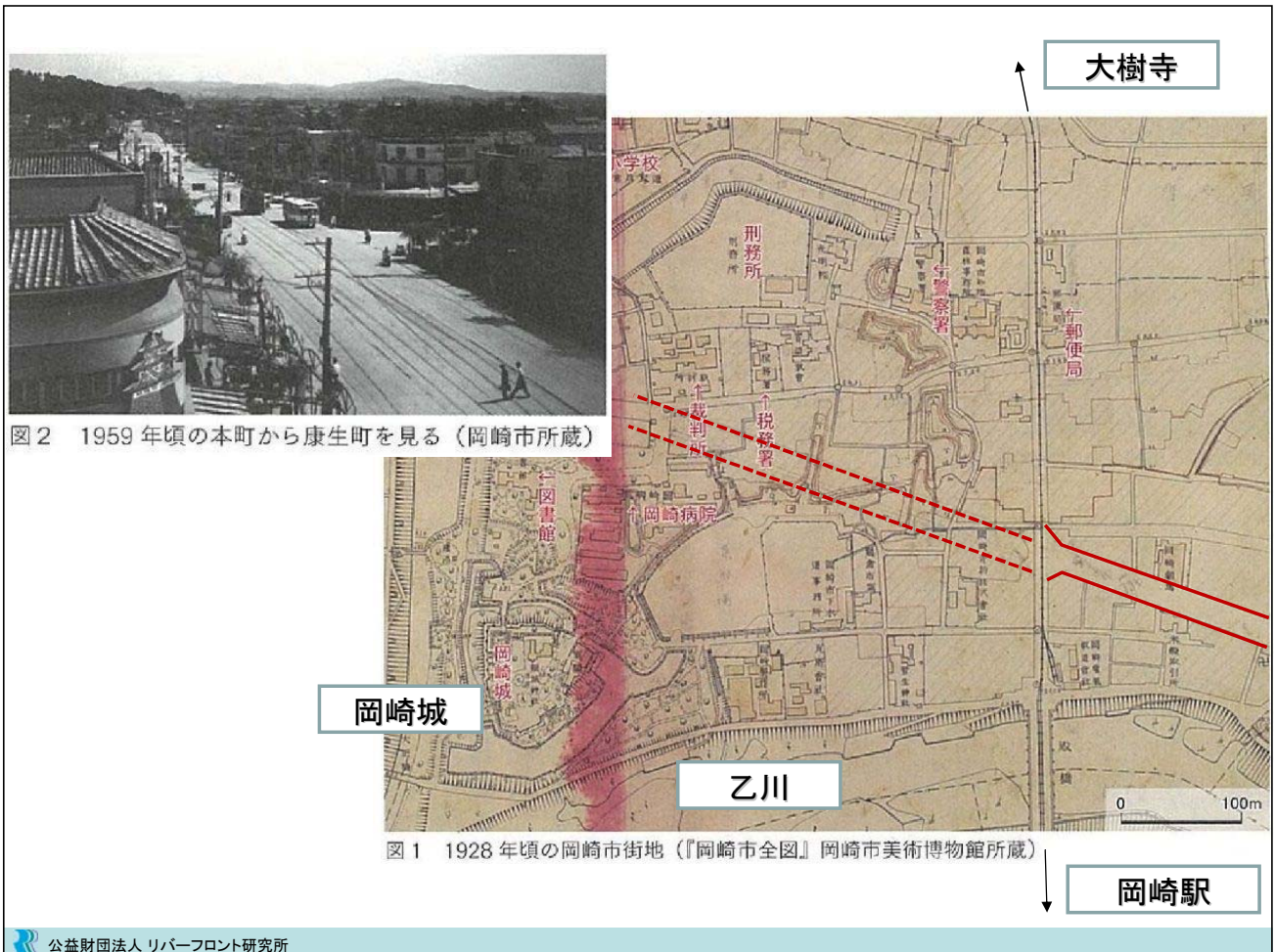
1. 岡崎市が取り組む水辺空間 を活かしたまちづくり

水循環・まちづくりグループ
研究員 佐伯博人









公益財団法人 リバーフロント研究所

平成26年度までの経緯

平成25年 「乙川リバーフロント地区整備事業」取組み開始

平成26年 「岡崎市乙川リバーフロント推進会議」発足

平成26年8月 「乙川リバーフロント地区整備計画」公表

平成26年度 社会資本整備総合交付金

・かわまちづくり支援制度へ計画の提出・申請

平成27年3月 かわまちづくり支援制度へ登録

平成27年4月 社会資本整備総合交付金の内定通知

公益財団法人 リバーフロント研究所

乙川 リバーフロント地区整備計画



乙川リバーフロント地区整備計画

—夢ある次の新しい岡崎を目指して—



本市では、平成27年に健康公顕彰400年、翌28年には市制施行100周年という歴史的に大きな節目の年を迎えます。このチャンスに、岡崎独自の歴史的文化遺産と乙川の水辺空間を活かした「観光産業都市 岡崎」としてのまちづくりを目指します。

その第一歩として、平成27年度から5か年で実施する「乙川リバーフロント地区整備計画」を作成しました。「夢ある次の新しい岡崎」の実現に向け、これからも市民一体となって取り組んでまいります。

平成26年10月
岡崎市

■ リバーフロント地区の整備に関する疑問にお答えします。

- Q1. 両岸を魅力ある「観光産業都市」としてしていくには、商業公園や緑地帯などの整備も必要ではないですか？
A1. 乙川リバーフロント地区は岡崎の玄関口ですが、これだけが「観光産業都市」に向けた取り組みのすべてではありません。この後、岡崎城など市外の各地に数多くある歴史的文化遺産を活用し、観光資源や地域の活性化を実現することによって、市域全体の魅力向上を図ってまいります。緑地帯などの活性化も重要な課題です。引き続き、官と民が協力してソフト面の事業にも取り組んでまいります。
- Q2. 事業の効果は岡崎市中心部に限られるのではないですか？
A2. 市外からのお客様に市内の各地を回っていただくためにも、まず、岡崎に足を運んでもらうことが必要です。このため、中心部を魅力あるものにするとともに、引き続き、市内各地の歴史的文化遺産を活かした整備を行ってまいります。
- Q3. 新橋と現代橋の架け替え（ツインブリッジ構想）はなくなったのですか？
A3. 老朽化に伴う架け替えと旧橋の架け替えにあわせて、両岸のシンボルとなる橋にしようというのが「ツインブリッジ構想」です。橋の設置者である発掘局と協議した結果、今回は、橋の長寿命化対策としての修繕工事となります。将来的には、現代橋は橋上公園の要素を持つ「緑の橋」に、新橋は岡崎の伝統を伝える「石の橋」にそれぞれ架け替えられ、さらに、(仮称)乙川人遺構の「本の橋」とも相まって異なるイメージの三本の橋を岡崎のシンボルにしたいと市では考えています。
- Q4. 乙川を走る人や自転車を円滑に通すためなら、(仮称)乙川人遺構はもっと幅が狭くてもよいのではないですか？
A4. 事業は発掘の目的を持つハード・ソフト両面の多くの効果からなっています。(仮称)乙川人遺構も、単に人や自転車が渡るだけでなく、中央緑道と一体となった公園であり、新たなイベント空間であり、新しいシンボリックな空間としての機能が期待できます。
- Q5. なぜ徳川四天王の石像を設置することになったのですか？
A5. 徳川家康公の強い絆の下、天下統一の偉業を成し遂げられた徳川四天王は、三河武士の団結と献身の象徴であるとともに、それぞれが優れた政治家であり将軍でもあります。徳川四天王の石像は、そうした徳川の英雄物語と三河武士の心を後世に伝え、今後も岡崎と市民を守ってほしいとの願いを込めたものです。
- Q6. 事業を具体化していくには、議論が不足しているのではないですか？
A6. 構想は、すでに10年以上前から、市議会など様々な場面で、多くの人が議論してきた課題です。一昨年の市長選挙においても、改めて市民の皆さまに問いかけられました。さらに、市民対話委員会、各種委員会、会合における説明など、既に100回以上も直接意見を交換する機会が設けられています。マスメディアやホームページなどを通じて、常に新しい情報が発信され、数多くのご意見も頂いております。さらに、岡崎活性化本部に「リバーフロント推進委員会」を設け、専門的立場から「提言」をいただきました。市議会においても、様々な会派の議員が取り上げています。このように、むしろ、他に疑問がないくらい幅広い議論がなされてきています。
- Q7. 100億円近い事業費をかけることなのですが、市の他の施策に影響はないのですか？
A7. 事業の概算額は5か年で99億7,000万円、単年度では概ね5分の1程度となります。この金額は、平成25年度の岡崎市の歳入総額2,150億円の1%程度であり、さらに、本事業には国からの交付金を見込むなど、できる限り市費の投入を抑えることとしています。このようにして、他の施策もバランスよく進めてまいります。
- Q8. 事業に対する一般市民及び関係者の声を聞いたことありますか？
A8. 今年の桜まつりの時期に、乙川沿いに1,653人を対象にアンケート調査を行い、90%を超える1,497人の方が、事業が実施されれば乙川を沿る回数が増えると回答された。また、約93%の1,543人の方から、賛成と助ましの声をいただいております。

■ 問い合わせ先 乙川リバーフロント推進会議事務局
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地 TEL: 0564-23-6490 FAX: 0564-23-6535

■ 乙川水面の利活用

- 乙川の左右岸から船着き場を設け、平成28年春から観光船を就航させます。(イラスト)
- 様々なスタイルのボートを揃えて、平成28年春から貸しボートの営業を復活させます。

■ 乙川水辺の活用

- ランニングコース
- 船着き場
- ドッグラン
- 貴しポイント
- 太陽の城跡地の活用

■ 乙川河川敷の整備

- 河川敷に散歩道やランニングコースを設けます。(イラスト)
- プロムナードには遊歩道を設けます。
- 伊賀川に架かる竹千代橋を拡張する。歩行者の橋を併設して、歩行者が安心して伊賀川を渡るようにします。
- 遊歩道の整備や水はけの改善を行います。
- 海川前に降りる階段やスロープを新設・改良します。

■ 乙川プロムナード (乙川堤防道路)

- 歩行者と車道を分離して再整備します。(イラスト)
- プロムナードには遊歩道を設けます。
- 伊賀川に架かる竹千代橋を拡張する。歩行者の橋を併設して、歩行者が安心して伊賀川を渡るようにします。

■ 乙川四天王像

- 徳川四天王を代表する武将の石像を(仮称)岡崎セントラルアベニューに設置します。
- 石像にストーリー性を持たせて設置することで、徳川家の歴史を理解するきっかけになります。
- 岡崎の石工伝統の粋を集め、躍動感ある岩肌を施します。

■ (仮称)岡崎セントラルアベニュー

- 乙川に当16mの水鏡の人工滝を設置します。
- 中央緑道の車道と歩道、歩行者専用歩道を創出します。
- セントラルアベニューには、中心市街地の景観として、イベント空間として、様々な活用が期待されます。

社会資本整備総合交付金 申請概要

目標	“夢ある次の新しい岡崎” ～乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした観光産業都市の創造～	代表的な指標	①魅力発揮に関する市民満足度 (%)	60	(H26年度) →	68	(H31年度)
			②橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数 (人/日(2h))	3,720	(H26年度) →	4,020	(H31年度)
			③岡崎公園を訪れる観光客数(岡崎城入場者数) (万人/年)	20.7	(H26年度) →	24.3	(H31年度)
			④東岡崎駅の乗降客数 (人/日)	36,594	(H26年度) →	39,500	(H31年度)



かわまちづくり支援制度の登録



平成27年度の経緯

- H27. 9 「乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会」発足
- H27. 11 「河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定等に関する要望書」提出
- H27. 11 「都市・地域再生等利用区域の指定・公表」
- H27. 12 「泰平のいのり」(協議会主催)実施のための河川敷地占用申請・許可

H27.12/26 「泰平のいのり」プロジェクト開催
(徳川家康顕彰400年祭と併催)

H28. 3 ミズベリング全国会議で岡崎市長が講演

H28年度 市政100周年、額田町合併10周年

H28. 5 岡崎市歴史的風致維持向上計画の認定

H28. 6 まち交大賞(まちづくりシナリオ賞)受賞

「泰平のいのり」プロジェクト



乙川の歴史と水防上の留意点



応永5年(1398)までに完成した乙川西流工事および南流せき止めのための六名堤の築堤。(岡崎市史第2巻第2章第2節 乙川開削事業と矢作宿 「浄瑠璃姫と岡崎 岡崎呉服協働組合理事長 加藤善敬」より引用 1452~1455年に西郷弾正佐衛門によって、今の竜頭山への岡崎城の築城にあわせ堤防が築かれ、流れが固定された。

乙川の歴史と水防上の留意点

現在は久後先という地名の六名堤が築造された場所では、明治15年に堤防が切れて下流の占部川、広田川、矢作古川の沿川一体を水浸しにし、43名の死者を出す洪水が発生した。

図2 1605年矢作川の付け替え
『吉良の歴史』発行・吉良町



久後切れ
場所(菅生川)の名鉄本線の少し上流南岸、三嶋切れとも呼ばれました。明治一五年一〇月一日この堤防が切れて、下流の幡豆までの村番69ヵ村が水浸しになりました。この水は昔の川筋に沿って流れたことが予想されます。歩いてみますと万有製薬の会社から占部川沿いに、今でもはっきり川筋と分かる地形が残っています。

古くから久後崎の池は「流れ久後」と言われ、家を建てることを避けてきたそうです。又ここは水越堤(越流堤)になっていたので、乙川の水位がある程度以上になると水があふれる仕組みになっていたそうです。乙川の下流への水量を減らすために考えられた工法。

この時の水難者追悼碑は名鉄の久後崎ガード付近から移設されたそうですが、現在碑のある所が堤防の切れたところで、少し前まで池になっていたそうです。そしてその池を埋めて果土木事務所が資材置場になっているわけです。この水害で3000haが水浸しになり、死者は43名だったそうです。

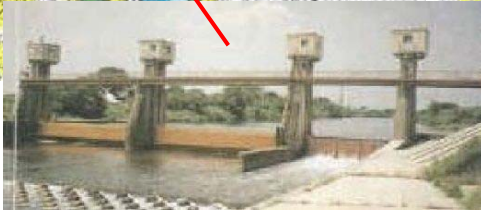
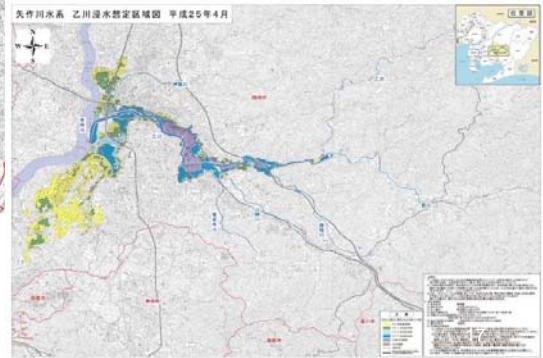
乙川の歴史と水防上の留意点



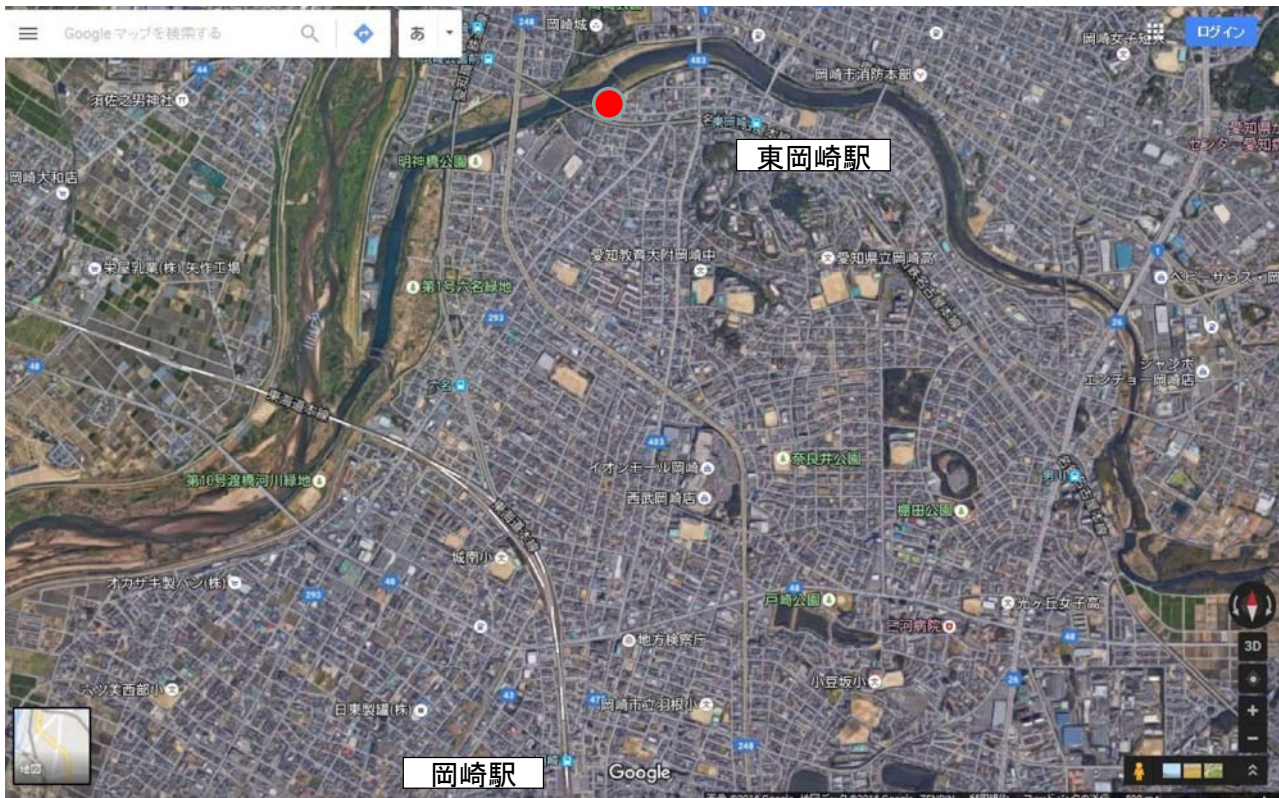
乙川浸水想定区域図

(概ね100年に1回程度の大雨
H25.4公表)

想定最大規模の降雨に関する
「洪水浸水想定区域図」(H27.7マニュアル)への対策
について今後検討が必要となる。



乙川の歴史と水防上の留意点



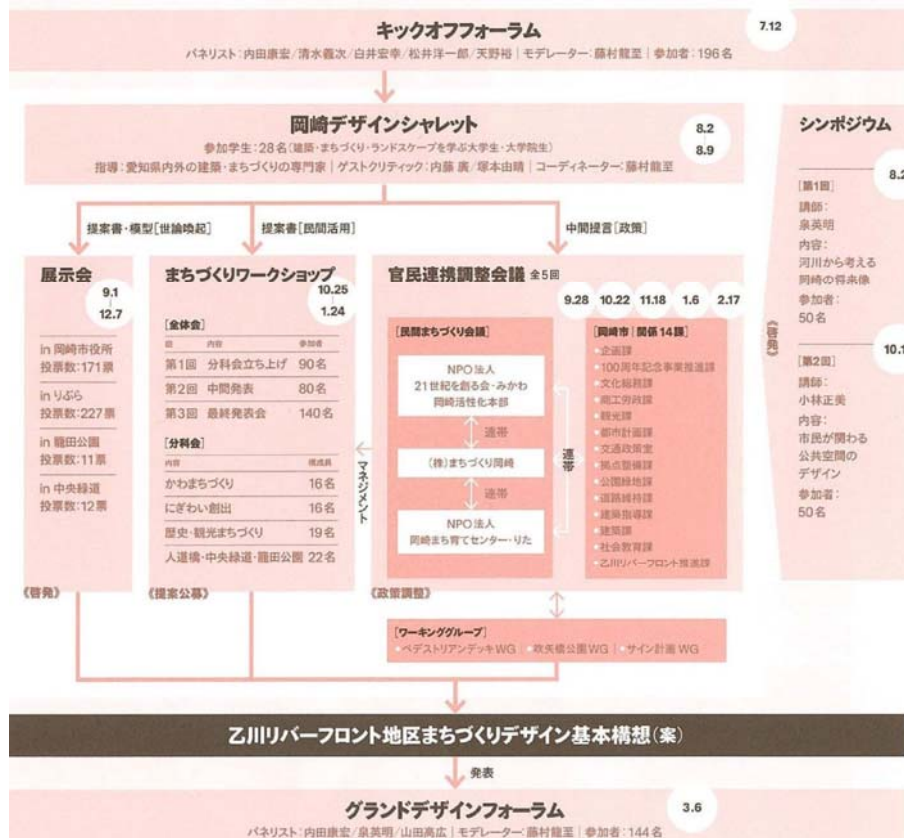
乙川リバーフロント地区のソフト施策

- 木舟運行事業
- 橋梁修景照明整備事業(殿橋、明代橋ライトアップ)
- モニュメント整備(徳川家康、徳川四天王石像)

- まちづくり啓発事業
- まちづくり講演会
- かわまちづくり組織化事業
- かわまちづくり発信事業(泰平のいのりプロジェクト)

- かわまちづくり民間連携事業
- かわまちづくりマネジメント公募事業
- 官民連携まちづくり持続化事業

2015 乙川プロジェクト



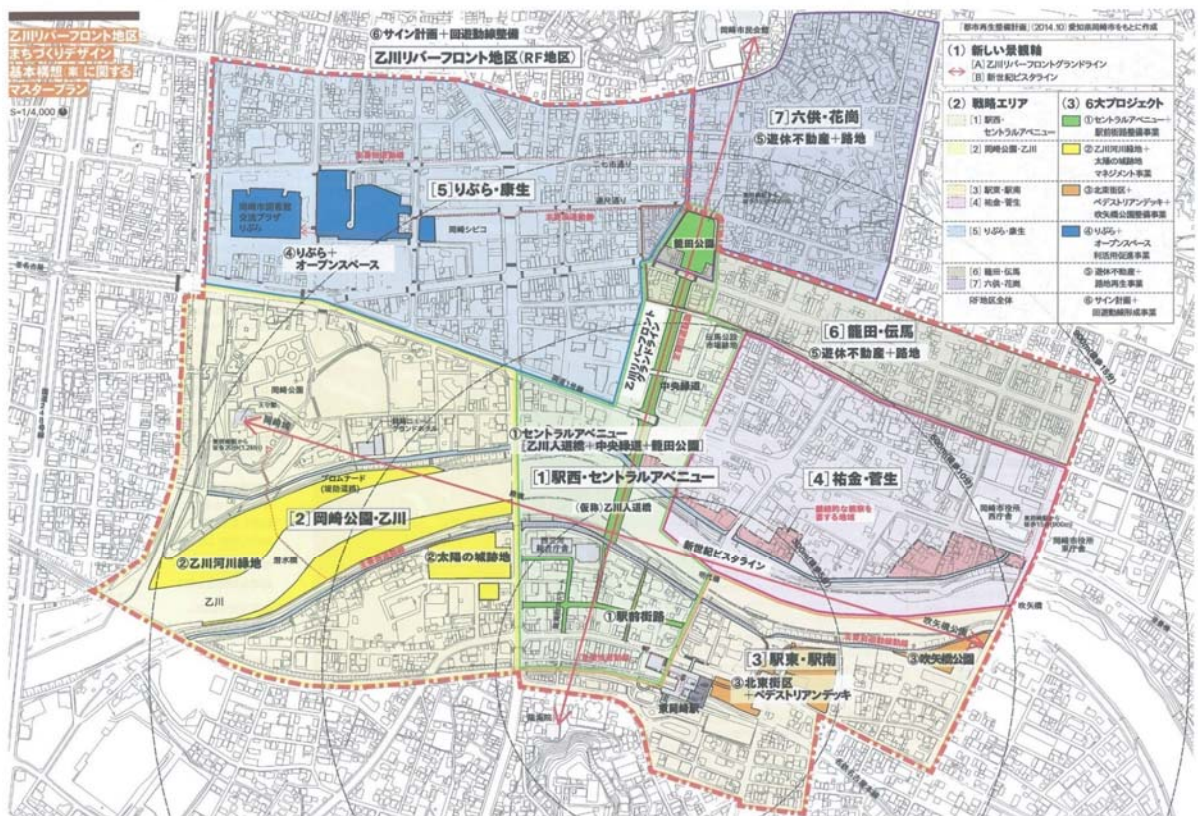
乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした 観光産業都市の創造

目標	“夢ある次の新しい岡崎” ～乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした観光産業都市の創造～	代表的な指標	①魅力発揮に関する市民満足度 (%)	60 (H26年度) → 68 (H31年度)
			②橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数 (人/日(19時))	3,720 (H26年度) → 4,020 (H31年度)
			③岡崎公園を訪れる観光客数(岡崎城入場者数) (万人/年)	20.7 (H26年度) → 24.3 (H31年度)
			④東岡崎駅の乗降客数 (人/日)	36,594 (H26年度) → 39,500 (H31年度)



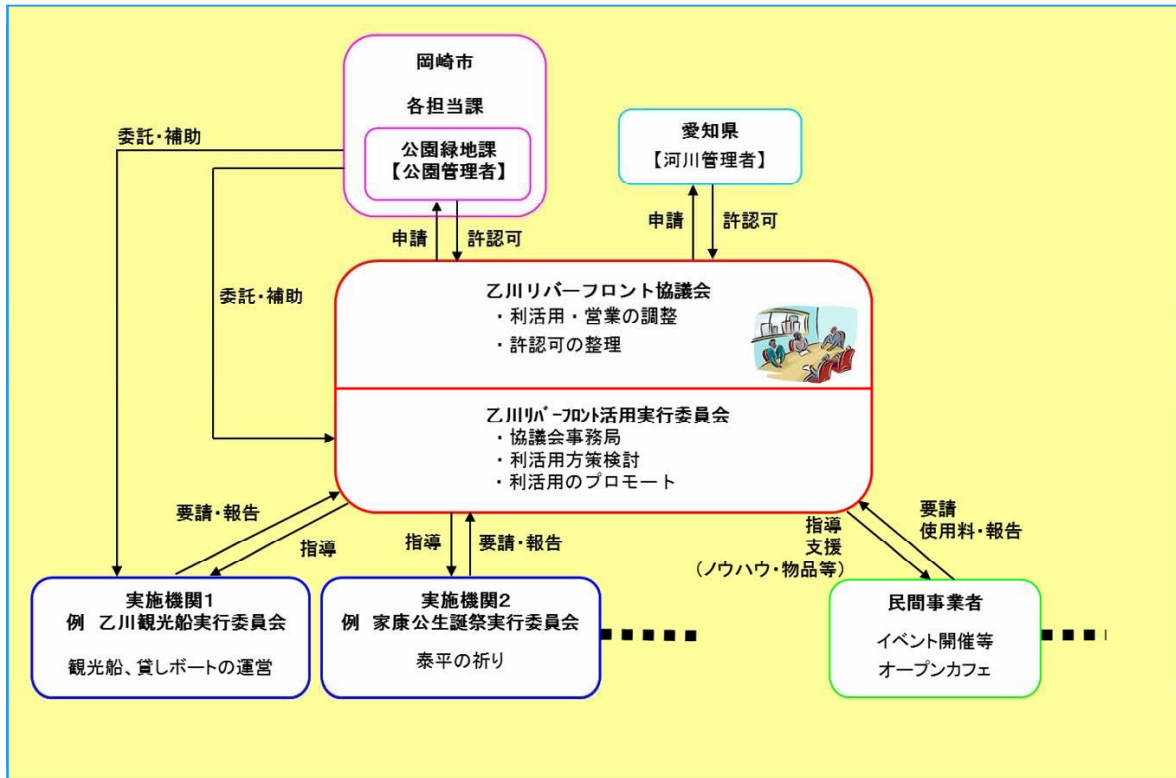
公益財団法人リバーフロント研究所

乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン基本構想



公益財団法人リバーフロント研究所

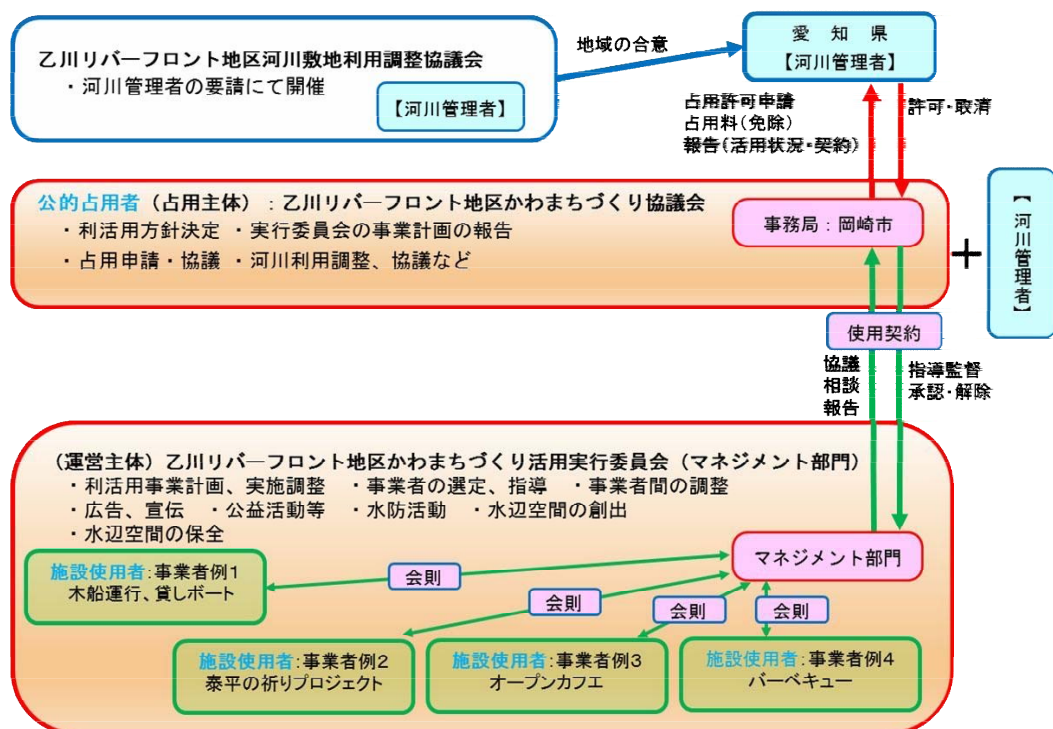
乙川かわまちづくり推進体制(当初)



公益財団法人 リバーフロント研究所

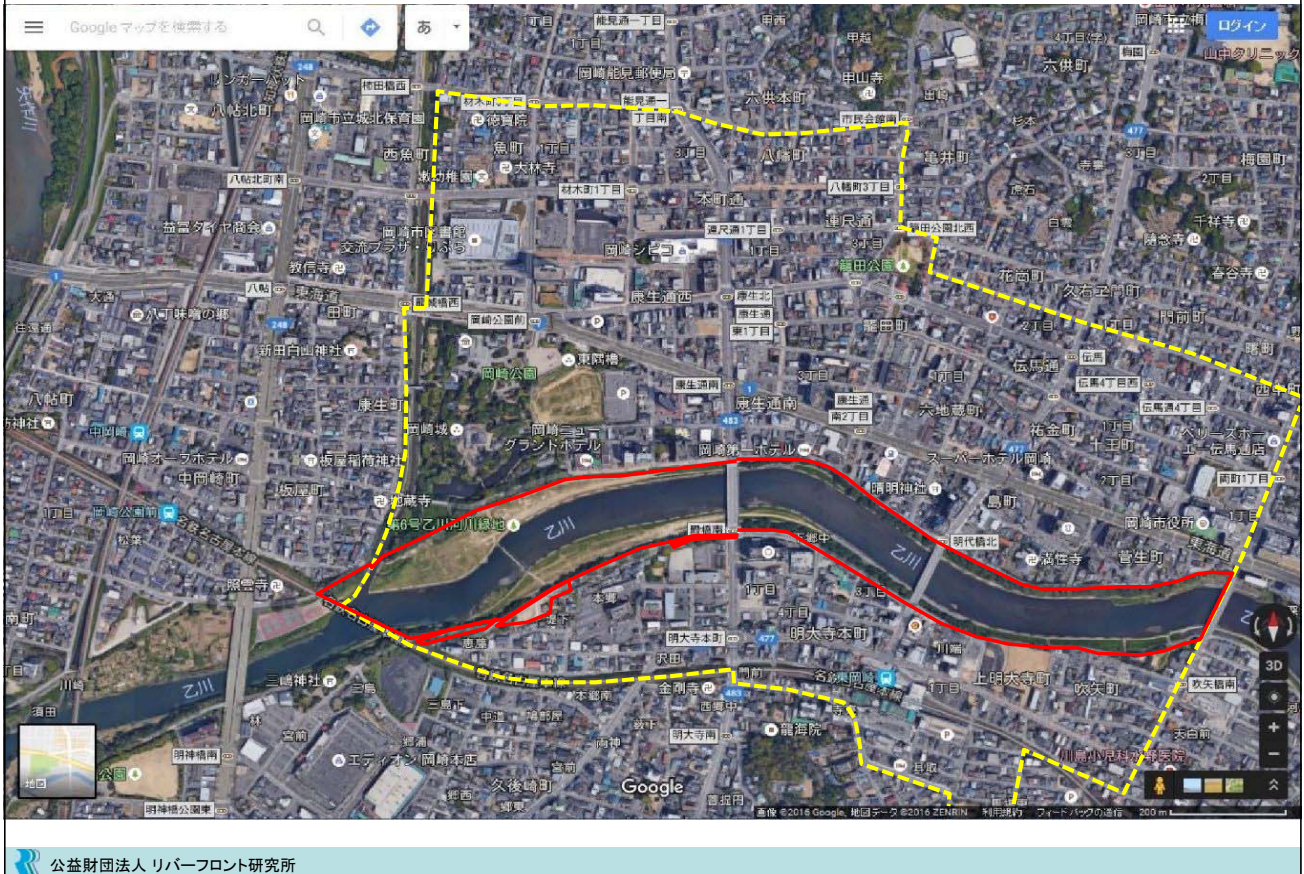
乙川 かわまちづくり推進体制

かわまちづくり推進体制スキーム図



公益財団法人 リバーフロント研究所

都市・地域再生等利用区域



公益財団法人リバーフロント研究所

都市・地域再生等占用主体(準則第22第4)

河川空間のオープン化
活用事例集



平成28年3月
国土交通省水管理・国土保全局

2. 河川空間のオープン化について ④

国土交通省

占用主体の種類と占用の許可期間

- 占用主体は以下の3類型。
- また、占用主体によって占用の許可期間の上限が異なる。

準則第6に掲げる占用主体

- ・ 公共性、公益性を有する主体(公的主体)
- ・ 占用施設を自ら使用するほか、営業活動を行う事業者等に使用させることができる。
- ・ 占用許可期間:10年以内

営業活動を行う事業者等であって、協議会等において適切であると認められたもの

- ・ 協議会によること以外にも、地元市町村の同意など地域の合意が確認できる幅広い手法によることができる。
- ・ 占用許可期間:3年以内

営業活動を行う事業者等

- ・ 占用許可に当たって公的主体や協議会等の調整や関与によることなく、河川管理者のみの判断で占用許可を行うもの。
- ・ 占用許可期間:3年以内

「資源としての河川利用の高度化に関する検討会」

※「営業活動を行う事業者等」の「等」とは、特定非営利活動法人、権利能力なき社団などをいう。

河川空間のオープン化活用事例集

河川管理者	国 県 市	河川名	占用主体	自治体	自治体相当	NPO等	民間
1 北海道開発局長	●	沙流川	平良町長	●			
9 北陸地方整備局長	●	信濃川	新潟市長(予定)	●			
13 中部地方整備局長	●	狩野川	沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会		●		
26 中国地方整備局長	●	吉井川	岡山県和気町長				
28 中国地方整備局長	●	元安川	水の都ひろしま推進会議			●	
29 中国地方整備局長	●	元安川	水の都ひろしま推進会議			●	
30 中国地方整備局長	●	元安川	櫛かき舟ひろしま				●
31 中国地方整備局長	●	太田川	広島市長	●			
32 中国地方整備局長	●	元安川	櫛かなわ				●
35 九州地方整備局長	●	川辺川・五木小川	五木村長	●			
2 東京都知事	●	隅田川	外-スコーヒージャパン・松竹サービスネットワーク				●
4 埼玉県知事	●	都幾川	ときがわ町川の広場河川利用調整会議		●		
5 埼玉県知事	●	入間川	名栗弁天河原河川利用調整会議		●		
6 埼玉県知事	●	大落古利根川	大落古利根川河川利用調整会議		●		
7 埼玉県知事	●	荒川	寄居町かわせみ河原利用調整会議		●		
8 埼玉県知事	●	荒川	親花橋河川利用調整会議		●		
10 新潟県知事	●	刈谷田川	見附市長	●			
11 新潟県知事	●	通船川	NPO 新潟水辺の会			●	
12 新潟県知事	●	阿賀野川	未定				
14 静岡県知事	●	都田川	NPO 浜名湖観光地域づくり協議会 ・浜名湖漁業協同組合・湖西市 ・浜名湖遊覧船株式会社	●	●	●	●
16 三重県知事	●	三滝川	四日市市長	●			
17 大阪府知事	●	大川	NPO 水上安全協会・櫛はちけんや		●	●	●
18 大阪府知事	●	堂島川	(財)大阪府年整備推進センター		●		
19 大阪府知事	●	堂島川・大川	大阪市長	●			
20 大阪府知事	●	堂島川・大川・土佐堀川	大阪市長			●	
21 大阪府知事	●	土佐堀川	北浜水辺協議会			●	
22 大阪府知事	●	堂島川	櫛ケー・エキスプレス				●
大阪府知事	●	箕面川	箕面市観光協会		●		
大阪府知事	●	尻無川	大阪市大正区長(予定)				
大阪府知事	●	安治川	大阪市福島区長(予定)	●			
27 広島県知事	●	京橋川	水の都ひろしま推進会議			●	
33 徳島県知事	●	新町川	徳島市長・NPO 新町川を守る会	●		●	
34 福岡県知事	●	那珂川・薬院新川	福岡市長	●			
3 渋谷区長	●	渋谷川	渋谷区長(予定)	●			
15 名古屋市長	●	堀川	(公)なごや建設事業サービス財団		●		
25 大阪市長	●	道頓堀川	南海電気鉄道(株)				●

公益財団法人 リバーフロント研究所

船着場・園路・斜路等の竣工状況



公益財団法人 リバーフロント研究所

人道橋の工事状況



公益財団法人 リバーフロント研究所

人道橋の完成予想



公益財団法人 リバーフロント研究所



ご静聴ありがとうございました。